

栗山町第6次総合計画 計画事業評価シート

政策分野	002	教育	政策項目	009	スポーツ	施策	030	生涯スポーツの推進	担当課	教育委員会事務局（教
------	-----	----	------	-----	------	----	-----	-----------	-----	------------

番号	計画事業名	区分	事業開始年度	事業終了年度
067	年齢や興味関心・技術技能に応じた生涯スポーツを推進します。	継続	平成27年度	平成34年度

	指標項目	基準値	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		指標設定の考え方
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
活動指標	町主催体育事業の実施（単位：回）	4	4	4	4	4	4	0	4	0	基準値：H25
	各種体育団体への支援（単位：団体）	2	2	2	2	2	2	0	2	0	基準値：H25
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
成果指標	町主催体育事業への参加（単位：人）	220	200	253	200	314	200	0	200	0	基準値：H25
	各種体育団体への加盟（単位：人）	1,141	1,000	1,091	1,000	1,186	1,000	0	1,000	0	基準値：H25
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	

【担当課評価】

項目	判断基準
必要性	1. 目標設定が町民ニーズ等に合致している。課題解決のために不可欠な事業である。 町民の健康増進を軸として運動する機会の提供及びスポーツ団体の活動支援を通し、青少年の健全化と体育振興を図っているため必要と判断する。
妥当性	1. 公共性・公益性が高いことから、行政が主体的に実施すべき事業である。 指定管理者や総合型地域スポーツクラブの熟成など機運があるが、町が主体となって行っている事業を行なえるまでには至っていないと判断する。スポーツ推進委員の連携して実施している。
有効性	1. 目的を達成するための手段として有効であり、最適な実施方法である。 スポーツ推進委員による事業計画、指導が行われており適した方法で実施していると判断する。
効率性	2. 事業費コストに改善の余地がある。 さらなら運動機会を提供するためには、事業費が増えていくと判断する。
公平性	2. 特定属性の不特定多数の個人・団体を対象としている。 団体については加盟者となるが町民を対象としており、地域全体の利益につながることから公平性が図られていると判断する。

項目	事業把握
前年度評価に対する改善内容	スポーツ推進委員や各関係団体と協力を行って実施している。
課題・問題点	人口減や休日の過ごし方の変化（栗山町では土曜授業などが新たに増えた）により、過去と比べると参加者数が減っている。団体支援の補助金などについては団体活動経費が年々増えているため増額してほしいという要望がある。
改善策	行事の周知方法、実施時期の見直し等に努め、利用者が参加しやすいまた興味を持つ行事を検討する必要がある。 補助金の増額については、要望する声が多くなってきたときに検討する必要がある。

【総合評価】

区分	評価内容・指示事項
1次評価	1. 計画通りに進める スポーツ推進員や指定管理者、総合型スポーツクラブと連携し、幼児から高齢者まで誰もが興味・関心や技能のレベルに応じた環境づくりに努めること。
	3. 改善を検討（事業内容） 総合型地域スポーツクラブ（NPO法人）の育成に進展がみられない。改めてNPO法人と行政の役割、事業目的や内容について整理し、実情における課題解決につながる他の支援策も検討しながら、事業者が自立して展開できるように進めること。
外部評価	
最終評価	3. 改善を検討（事業内容） 二次評価と同様。

栗山町第6次総合計画 計画事業評価シート

政策分野	002	教育	政策項目	009	スポーツ	施策	030	生涯スポーツの推進	担当課	教育委員会事務局（教
------	-----	----	------	-----	------	----	-----	-----------	-----	------------

番号	計画事業名	区分	事業開始年度	事業終了年度
068	スポーツ合宿などの受入体制を整備します。	継続	平成27年度	平成34年度

	指標項目	基準値	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		指標設定の考え方
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
活動指標	スポーツ合宿の受入（単位：件）	24	30	21	30	16	30	0	30	0	基準値：H25
	事業対象となる件数（単位：件）	2	10	2	10	3	10	0	10	0	基準値：H25
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
成果指標	スポーツ合宿の受入（単位：人）	926	1,000	887	1,000	2,070	1,000	0	1,000	0	基準値：H25
	事業対象となる人数（単位：人）	73	200	47	200	89	200	0	200	0	基準値：H25
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	

【担当課評価】

項目	判断基準
必要性	1. 目標設定が町民ニーズ等に合致している。課題解決のために不可欠な事業である。 合宿誘致による経済効果は大きく、地域経済活性化の一端を担っている。
妥当性	2. 民間等が主体的に実施すべき事業であるが、現段階では行政で実施する必要がある。 ほとんどがNPO兩煙別学校と社会体育施設指定管理者が受入を行っている。 合宿者と町の接点がないため、指定管理のノウハウが蓄積されたときは民間が主体的に実施が望ましい。
有効性	2. 目的を達成するためには、別の手段も考えられるが、現段階では最善の方法である。 更なる合宿受入事業を拡大する場合は環境整備が必要（宿泊施設、社会体育施設）になる。
効率性	1. 事業費コスト及び人件費コストに見合った効果が期待でき、費用対効果が高い。 合宿記念品の額は対象となる団体の町内への経済効果を考慮すると決して過大ではない。
公平性	1. 受益者負担が適正であり、特定の個人や団体に偏っていない。 合宿者の施設利用にあたっては、それぞれの団体と協議のうえ実施している。

項目	事業把握
前年度評価に対する改善内容	合宿者からの問い合わせがあったときは、事前に利用団体と調整を行っている。
課題・問題点	施設の経年劣化が著しい施設については受け入れを断る又は制限している。 合宿申し込みが増加する大型連休や夏休みなどの期間の調整が困難である。
改善策	老朽化については、第6次総合計画後期に含まれているため、改修はせず現状維持とする。 合宿団体と事業との調整については、関連施設・団体と協議の上、調整することとする。

【総合評価】

区分	評価内容・指示事項
1次評価	1. 計画通りに進める 施設の状況を勘案し、関連施設・団体と協議の上、滞在人口増に向けた地域活性化につながる取り組みを検討すること。
	3. 改善を検討（事業内容） スポーツ合宿の練習場所として町内が活用されていても、宿泊は町外であるなど、当初の目的である滞在人口増につながっていない実態がみられる。ニーズ把握を行い、必要性について検討すること。
外部評価	
最終評価	3. 改善を検討（事業内容） 二次評価と同様。

栗山町第6次総合計画 計画事業評価シート

政策分野	002	教育	政策項目	009	スポーツ	施策	031	スポーツ施設の整備	担当課	教育委員会事務局（教
------	-----	----	------	-----	------	----	-----	-----------	-----	------------

番号	計画事業名	区分	事業開始年度	事業終了年度
069	老朽化した社会体育施設の改修などを計画的に行います。	継続	平成27年度	平成34年度

	指標項目	基準値	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		指標設定の考え方
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
活動指標	施設改修数（単位：施設）	10	14	12	9	9	2	0	4	0	基準値：H25
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
成果指標	社会体育施設数（単位：施設）	16	16	16	16	16	16	0	16	0	基準値：H25 ※改修した施設数
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	

【担当課評価】

項目	判断基準
必要性	1. 目標設定が町民ニーズ等に合致している。課題解決のために不可欠な事業である。 安全にスポーツをするために必要と判断する。
妥当性	1. 公共性・公益性が高いことから、行政が主体的に実施すべき事業である。 公共施設のため、行政が主体的に実施する必要があると判断する。
有効性	2. 目的を達成するためには、別の手段も考えられるが、現段階では最善の方法である。 本来、早い時期に予防修繕として修繕をすることが望ましいが、予算の関係上、現段階では最善の計画と判断する。
効率性	3. 人件費コストに改善の余地がある。 事務職でできる内容の修繕はあるが、大規模な修繕など専門的知識が必要となる。技師が行うと人件費及び事業費のコストが軽減される可能性があるためと判断する。
公平性	1. 受益者負担が適正であり、特定の個人や団体に偏っていない。 公共施設の利用料金として利用料金を公平に負担していただいている。

【総合評価】

区分	評価内容・指示事項
1次評価	1. 計画通りに進める 体育施設の安全な活用を維持・継続させるため、引き続き、計画的な施設・設備の補修・改修に努めること。
	3. 改善を検討（事業内容） 施設老朽化への対応は都度の判断が必要な場合もあるが、全体的に当初の年次計画と実態が乖離しているため、現地確認により現状を把握し、改めて年次計画を検討すること。体育施設におけるLED照明への交換による効果について検討すること。
外部評価	
最終評価	3. 改善を検討（事業内容） 二次評価と同様。

項目	事業把握
前年度評価に対する改善内容	年度別に計画している改修事業の優先順位を整理することとなり、指定管理者と協議をしている。
課題・問題点	計画されている修繕については、実施年度の優先度等を勘案し、財政推計等の状況を踏まえて決定しているが、後回しになってしまった修繕箇所は年々悪化している。後期計画時は算定が難しくなる。□ 突発的な修繕の予算が50%カットされたことにより、指定管理者や団体からの修繕要望に応えられる件数が少なくなっている
改善策	施設の現状把握と修繕箇所の把握について、専門家を配置する施設管理グループなど設置を検討することも一つの手段と考える。□ 突発的な修繕については、予算額を上げる必要がある。

栗山町第6次総合計画 計画事業評価シート

政策分野	002	教育	政策項目	009	スポーツ	施策	031	スポーツ施設の整備	担当課	教育委員会事務局（教
------	-----	----	------	-----	------	----	-----	-----------	-----	------------

番号	計画事業名	区分	事業開始年度	事業終了年度
070	ふじスポーツ広場の大規模な改修を検討します。	継続	平成27年度	平成34年度

	指標項目	基準値	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		指標設定の考え方
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
活動指標	基本計画、測量	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
	実施設計	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
	改修面数	2	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
成果指標	改修施設数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	

【担当課評価】

項目	判断基準
必要性	2. 目標設定が町民ニーズ等に概ね合致している。課題解決のために必要な事業である。 分野別懇談会では、修繕するのであればできるだけ早い時期に改修を行ってほしいと意見があり。
妥当性	1. 公共性・公益性が高いことから、行政が主体的に実施すべき事業である。 公共施設のため町が実施することが望ましいと判断する。
有効性	1. 目的を達成するための手段として有効であり、最適な実施方法である。 平成13.14年度に張替えを実施してから10年以上経過しているため張替えは有効と判断する。
効率性	2. 事業費コストに改善の余地がある。 人工芝にした場合は、20年程度の長い年月のランニングコストを勘案すると効率性が良いと判断する。また、利用率については、大幅に上がると見込まれる。
公平性	2. 特定属性の不特定多数の個人・団体を対象としている。 利用者は全町民が対象であるが、実際の利用者は一定の競技者に固定化される。

項目	事業把握
前年度評価に対する改善内容	後期計画で検討
課題・問題点	後期計画で実施するときは、東京オリンピックの関係で改修費用が上がる可能性がある。
改善策	実施時期が決定した時点で、専門家による基本設計、実施設計を経てから改修工事をするのが望ましい。

【総合評価】

区分	評価内容・指示事項
1次評価	1. 計画通りに進める 後期計画の検討時に、改めて専門家を交えて基本設計、実施設計、改修工事について協議し、全体費用と財政面を勘案しながら、検討、協議を行うこと。
	1. 計画通りに進める 一次評価と同様。
外部評価	
最終評価	1. 計画通りに進める 二次評価と同様。

栗山町第6次総合計画 計画事業評価シート

政策分野	002	教育	政策項目	009	スポーツ	施策	031	スポーツ施設の整備	担当課	教育委員会事務局（教
------	-----	----	------	-----	------	----	-----	-----------	-----	------------

番号	計画事業名	区分	事業開始年度	事業終了年度
071	栗山町スキー場の大規模な改修を検討します。	継続	平成27年度	平成34年度

	指標項目	基準値	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		指標設定の考え方
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
活動指標	施設改修数（単位：施設）	1	1	1	1	0	1	0	1	0	基準値：H25
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
成果指標	施設数（単位：施設）	1	1	1	1	0	1	0	1	0	基準値：H25 ※改修した施設数
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	

【担当課評価】

項目	判断基準
必要性	1. 目標設定が町民ニーズ等に合致している。課題解決のために不可欠な事業である。 安全にスポーツをするために必要と判断する。
妥当性	1. 公共性・公益性が高いことから、行政が主体的に実施すべき事業である。 公共施設のため、行政が主体的に実施する必要があると判断する。
有効性	1. 目的を達成するための手段として有効であり、最適な実施方法である。 最適な実施方法である。
効率性	1. 事業費コスト及び人件費コストに見合った効果が期待でき、費用対効果が高い。 余地はない。
公平性	1. 受益者負担が適正であり、特定の個人や団体に偏っていない。 公共施設の利用料金として利用料金を公平に負担していただいている。

項目	事業把握
前年度評価に対する改善内容	修繕を実施。
課題・問題点	老朽化施設であることから、毎年修繕箇所が突発的に発生してくる事が予想される。
改善策	修繕計画に基づいた修繕が必要とされる。

【総合評価】

区分	評価内容・指示事項
1次評価	1. 計画通りに進める 安全な施設として維持するため、現状の把握とともに計画的な管理に努めること。
	1. 計画通りに進める 一次評価と同様。リフトについては老朽化の状態を確認のうえ、改修が必要となる場合を想定し、中古リフトの導入など費用面も考慮した対応方法を検討すること。
外部評価	
最終評価	1. 計画通りに進める 二次評価と同様。